

令和6年度 一般選抜試験問題【第二次募集】（第二部 商経学科） 解答例

問1 (80点)

【採点のポイント】

・ヤマハが行っている活動が、直接利益に結びついていないことや、文化支援や地域社会に貢献する活動であることを、具体的に説明できているかどうか。

【解答例】

ウィーン・フィルが使用している楽器は現在の標準的なものとは構造が異なっているため、他のオーケストラで使用していることはほとんどなく、需要も限られている。また、これらの楽器は特注の手作りで、求められる品質もハイレベルであり、特殊な原材料や技術が求められるためコストもかかり、利益があがるビジネスではない。しかし、ヤマハはこれらの楽器の復元や製造に関わり、世界最高峰の音楽文化を支えている。このような活動は「企業の社会貢献活動」だと考えられる。

(220文字)

問2 (120点)

【採点のポイント】

- ・企業の社会貢献活動を正しく理解できているかどうか。
- ・自分の考えを文章で適切に表現できているか。

【解答例】

企業の社会貢献として期待される活動は、持続可能な開発目標への貢献や環境保護、地域社会への還元など、いろいろあります。例えば、環境にやさしい商品の提供や再生可能エネルギーの活用など、環境への悪い影響が最小限になるような工夫が望ましいと思います。また、企業は社会的な問題にも積極的に取り組むべきだと考えます。例えば、障がい者の雇用を積極的に促進し、男女間や正規社員と非正規社員との間の賃金などの格差が縮小するような取り組みにも期待します。さらに、文化や芸術活動を振興する活動や、プロスポーツだけでなく、地域に根付いたスポーツ活動などへのかかわりも深めていって欲しいと思います。企業の社会貢献活動は、必ずしも直接利益にはつながらないかもしれませんが、企業に対する信頼が増すため、結果として長期的な成功につながると思います。いずれにしても、企業には、利益追求だけでなく、社会全体の健全な発展に貢献するような活動を望みます。

(406文字)